

「国際協力機構史～統合をはさんだ20年の歴史～」(仮称) 目次

序 発刊の辞、歴代総裁/理事長・副理事長の顔写真、写真で見る国際協力、目次、凡例

第1部 国際協力機構の歩み

第1章 21世紀の幕開け、我が国のふたつのODA実施機関

第1節 世界情勢と国際援助の動向（国際援助のグローバル化時代）

第1項 アジア通貨危機の発生、開発途上国の債務問題

- ・アジア通貨危機
- ・債務問題への対応 HIPC イニシアティブ
- ・九州・沖縄サミット

第2項 開発目標の世界的合意の形成、国際援助のグローバル化

- ・ミレニアム開発目標 MDGs
- ・北海道洞爺湖サミット
- ・人間の安全保障の議論
- ・貧困削減文書 PRSP
- ・援助協調—財政支援型援助とプロジェクト型支援の議論

第3項 テロの発生により不安定化する世界

- ・米国同時多発テロの発生
- ・アフガニスタン・イラク問題

第2節 我が国の行財政改革とODAを巡る議論の変化（トップドナーからの転換期）

第1項 政府開発援助をめぐる国内議論とODA予算の見直し

- ・予算削減の方針
- ・ODA改革の議論
- ・ODA大綱の改定
- ・平和構築支援（アフガニスタン復興支援東京会議、国際平和協力活動PKO）
- ・対中国ODAをめぐる議論

第2項 行財政改革の動きに伴う大変革とODA実施体制づくり

- ・中央省庁再編、特殊法人等改革基本法と特殊法人等整理合理化計画
- ・財投改革と政府系金融機関改革
- ・海外経済協力に関する検討会の議論
- ・国際協力に関する有識者会議

第3節 独立行政法人国際協力機構の発足

第1項 JICAの自己改革の取り組みと独立行政法人化

- ・業務・組織の改革の取り組み ～業務・組織改革タスクフォース設置～
- ・機構改革-地域部の創設、課題部創設
- ・特殊法人整理合理化計画への対応-「JICAの独立行政法人化に向けた有識者懇談会」
- ・一部業務の廃止（開発投融资、移住関連事業）
- ・独法業績評価制度
- ・環境社会配慮
- ・JICA改革プラン（第1弾-本部組織改編、在外強化、第2弾-研修改革・市民参加協力促進、国内機関の機能集中・合理化、国総研機能強化）

第2項 人間の安全保障の視点に基づく事業

- ・MDG課題/国境を超える課題（感染症SARS/鳥インフルエンザ）
- ・平和構築支援（東ティモール、アフガニスタン）、災害復興支援（スマトラ沖他）
- ・アフリカ支援拡充
- ・市民参加、国民参加型協力の新たな展開（草の根技術協力、地球ひろば、寄付金制度）

第4節 国際協力銀行の発足と海外経済協力業務の軌跡

第1項 国際協力銀行の誕生と海外経済協力業務の実施体制

- ・国際協力銀行法制定と海外経済協力業務実施方針の策定
- ・カントリー・ストラテジー強化 一本部体制、海外拠点
- ・環境社会配慮ガイドラインと異議申し立て制度

第2項 海外経済協力業務の国際課題への対応

- ・貧困削減への対応
- ・アジア通貨危機への対応、アフリカ支援
- ・債務問題への対応
- ・平和構築/復興支援（イラク支援）
- ・気候変動対策支援
- ・国内パートナーとの関係強化
- ・JICAとの連携（連携DD、連携FS）

第5節 新JICAへの移行

第1項 海外経済協力業務の国際協力銀行からの分離

第2項 統合準備（業務・組織・人事制度）

- ・新JICA制度設計（「効率性・機動性」、「相乗効果」、「一体感」）
- ・統合準備室の設置
- ・海外拠点の統合
- ・資産の承継

第2章 統合後の国際協力機構の軌跡

第1節 世界情勢と国際援助の動向（グローバル化の進展-その光と影、新たな国際関係）

第1項 新興勢力の台頭、国際パワーバランスの変化

- ・世界金融危機
- ・第1回G20の開催

- ・中国の経済成長/国際的影響力の増大
- ・グローバル化による経済成長、格差拡大、環境への影響
- ・中東情勢の不安定化
- ・難民問題の深刻化

第2項 新たな国際合意 ～持続可能な世界を目指しての「開発」と「環境」

- ・持続可能な開発のための 2030 アジェンダ (SDGs)
- ・国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議 (COP21) とパリ協定

第2節 我が国 ODA の新たな展開

第1項 金融危機、東日本大震災からの復興期における ODA 改革議論

- ・世界金融・経済危機への ODA による支援
- ・ODA のあり方に関する検討

第2項 開発協力大綱の制定

- ・ODA 60 周年
- ・開発協力の理念の議論と大綱の制定
- ・ODA 予算の下げ止まり

第3項 開かれた国益・国際協調主義 ～世界共通の価値および原則に基づく、平和・安全・繁栄の希求～

- ・地球儀俯瞰外交、積極的平和外交
- ・SDGs、気候変動、UHC への貢献
- ・伊勢志摩サミット、国連防災世界会議、TICAD

第3節 新たな国際協力機構（統合後の新 JICA）の基盤整備

第1項 新 JICA の組織体制作り

- ・新 JICA 発足の組織編成、本部移転
- ・JICA 資本金・予算・人員の推移
- ・JICA のビジョン Inclusive & Dynamic Development
- ・予算の拡充（無償予算、有償勘定技術支援経費、JICA 債発行）
- ・研究所の設置・研究機能強化

第2項 事業仕分けへの対応

- ・事業仕分け
- ・JICA の事務・事業の見直し（研修事業改革、ボランティア）
- ・調達制度改革

第3項 事業実施基盤の強化と発信力の強化

- ・プログラム化、JCAP 作成、協力準備調査導入
- ・ナレッジマネジメントの取り組み
- ・国際機関との連携の拡大、深化
- ・新環境社会配慮ガイドライン
- ・事業評価
- ・コーポレート・ガバナンス
- ・経営諮問会議、国際助言委員会
- ・国内機関の統廃合、開発途上国と地域の結節点としての機能強化

第4項 危機管理と安全対策

- ・東日本大震災時の対応と東北復興支援
- ・エボラ出血熱流行時の対応（国内対応および感染国支援）
- ・建設工事安全の取り組み
- ・安全管理

第4節 開発課題への挑戦と貢献 ～国内外の期待に応える～

第1項 国・地域および重点課題への対応

- ・質の高い成長を通じた貧困削減（質の高いインフラ、アジア連結性、アフリカ支援拡充、ミャンマー支援再開）
- ・地球規模課題への対応 環境、防災、UHC
 - ・普遍的価値の共有、平和で安全な社会の実現 平和構築支援（アフガニスタン、イラク、フィリピン、ミンダナオ、南スーダン）
 - ・難民支援

第2項 戦略的パートナーシップの拡大、日本-途上国のウィン・ウィン関係構築

- ・投融資再開、民間連携
- ・世界と日本を元気にするODA
- ・国内事業改革（大学連携、自治体連携）
- ・中小企業支援
- ・日本の知識・経験・科学技術テクノロジーの活用
- ・JOCV50周年
- ・開発援助機関をリードするJICA

第3項 世界と日本を信頼でつなぐ JICA の使命

- ・SDGsへの取り組み（ポジションペーパー）
- ・新しいビジョン策定と5つのアクション ～人間の安全保障と質の高い成長を実現するための新たな決意
- ・知日派高度人材の育成（ABEイニシアチブ、イノベティブ・アジア、開発大学院連携）

第2部 国際協力機構の業務の変遷と実績

第1章 技術協力

- 第1節 研修員受入
- 第2節 専門家派遣
- 第3節 技術協力プロジェクト
- 第4節 開発計画調査型技術協力
- 第5節 地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS)

第2章 有償資金協力

- 第1節 円借款
- 第2節 海外投融資

第3章 無償資金協力

第4章 国民等の協力活動

- 第1節 ボランティア事業
- 第2節 市民参加
- 第3節 民間連携・中小企業海外展開支援

第5章 移住者・日系人社会支援

第6章 国際緊急援助

第1節 国際緊急援助隊派遣

第2節 緊急援助物資供与

第7章 開発人材の養成および確保

第8章 調査・研究

第9章 評価、広報等

第1節 事業評価

第2節 広報

第3節 受託事業

第3部 資料・統計編

- ・ 組織の変遷（本部、国内機関および在外事務所）、
- ・ 予算・財務状況
- ・ 事業統計
- ・ 役員在任期間
- ・ JICA理事長表彰
- ・ 年表

